

放課後の生活を保障するとは

学童保育指導員はどういう目線で子どもと向き合っているのか

2010・5・9



日本社会事業大学専門職大学院 講師
下浦 忠治

必要な子に、必要な援助ができてこそ すべての子ども放課後保障になる

なぜ学童保育が生まれたのか？

保育園を卒園する児童に「放課後の生活の場」がなかった時代
働きながら子育てする保護者が「つくり運動」で拡充させてきた

なぜ自治体によって施策がちがうのか

1991年まで、国は固有の留守家庭児童対策をすすめなかった
自治体ごとの歴史の違い
今も、施設としての最低基準もない「事業」という位置づけ

なぜ学童保育でなければいけないのか？

児童館や全児童対策には「生活の場」を保障する目的も条件整備もない
今や、仕事と子育ての両立支援策として不可欠の施策
子ども子育て新システム検討会議での議論

学童保育の特性と指導員に求められる仕事・役割①



毎日の「生活の場」

行きたいときに行く「遊び場」と違う

来なければ来ないでいいと済まされる事業ではない



保護者と連絡をとりながら、嫌がることなく学童保育
に帰って来れるように配慮し、働きかけること



休みがちな子にも心寄せながら働きかけること
誰ひとりないがしろにしないで、向き合う

(子どもが楽しく通えていてこそ安心して仕事ができる)

学童保育の特性と指導員に求められる仕事・役割②



毎日の「生活の場」

行きたいときに行く「遊び場」と違う

来なければ来ないでいいと済まされる事業ではない



5時6時7時まで安心していられる生活環境(人間関係が最大の環境)を子どもたちと創っていくこと



その子の変化(体調や人間関係)にも気づける目線
(遊び場の安全管理人とはちがう)

学童保育の特性と、指導員に求められる仕事・役割③



大人に依存しながら成長していく過程にある。
親の労働実態から、ゆとりある親子関係を持ってないまま生活している子どもや「障がい児」もいる



人間関係に寄り添い、一人ひとりをわかろうとするい
となみが求められる


* その子の言動をエコロジカルな視点で理解する




依存しながらさまざまな力をつけていく年齢だけに、
生活の援助やあそびのサポートが成長を促す

(とりわけ「障がい」のある子には)

学童保育の特性と指導員に求められる仕事・役割④

 親が働いているという理由で入所し、やりたいことも興味関心も違う(塾や習い事の世界とはここが違う) 自分の意思で帰って来なくてはいけない


 いつも声をかけてくれて、思いを聴いてくれる、「つらさ」にも気づいてくれる指導員を心の拠り所にする

* そのためにも「指導員の継続性」「適正規模」が大切

 毎日行きたくなるような生活の目当て(遊びと仲間)と所属意識が持てる人間関係を紡いでいく

* エンパワメント

学童保育の特性と指導員に求められる仕事・役割⑤

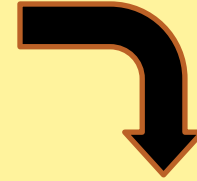
 子どもたちのいきいきとした生活を保障することで、働きながらの子育てを支える

 保護者に対しては働きながらの子育てに共感しながら、悩みや思いを出せる関係を築いていく

 子どもの生活を伝え、親子で交流する機会をつくっていく～そのことを通して、保護者をつないでいく

受け止められてこそ、「今の自分」をさらけださせてこそ 生活の場になる

大事にしたい
その子の思いを「聴く」
というかわり



自らの力をためそうとして
成長していく
かわりあって育ち合う

見守られていると実感する
ことから安心感が
その上で、子どもたちを紡
いでいく



うまくできなくてもいいん
だという安心感

やってみようと思う気持ち
の醸成を



楽しいと共感しあえる子ども同士の関
係性が大事(成長の土壌)



毎日楽しみにして「学童保育」に来れるように

個別性・多様性を考慮
様々な遊び・取り組みを



仲間とともに楽しめる遊
び、取り組みを展開



その子その子にその気
をおこさせる働きかけ





それぞれに目当てとなるもの
を見つけられる手助けを




明日の生活につながる


保護者と指導員、共育でのスタンスで

 公設公営でも保護者の力で改善させてきた歴史がある

 子どもが仲間の中で育ち合っている事実と、指導員のまなざしを伝えていく大切さ

 悩みを共有し、一緒に考えようという姿勢

 孤立の子育てにならないように

 保護者のつながりこそ最大の子育て支援

 子どもも保護者も指導員も、ともに育ち合う場